

森さつきさん、有馬明子さんに2学期からお手伝いしていただきます。頼もしい仲間に復帰していただきました。

お二人とも仕事の関係等あり中断しておられましたが、また一緒に読み語りをしていただきます。

よろしくお願ひいたします。



道端でモグラとうさぎを見つけました。

放課後児童クラブでの読み聞かせの参加された皆さんお疲れさまでした。

夏休みの間、毎週木曜日の読み聞かせ、1年生から3年生までの大人数の子どもたちでしたから大変だったと思います。でもみんなよく聞いてくれていたので読み手も気持ち良く読めました。



松江怪喜宴

9月1日松江歴史館で小泉汎さん（県立短大教授）木原浩勝さん（怪異蒐集家）の二人による「松江怪談講義」があり、聴きに行きました。

毎月のように開催されている「怪し会」ですが、チケットがすぐ完売になるくらいの人気ぶりのようです。

幽霊や妖怪をすぐそこにいるように話す二人を見ていると、かなり怪しい世界に引き込まれてしまいそうでしたが、私は妖怪や幽霊が最近少なくなった代わりにだんだん人間の心が、化け物になってゆくような気がします。

幽霊や妖怪を信じていた時代の方が、平和で心豊かだったのでないでしょうか。 山崎一功

お知らせ

1、講演会「読み聞かせをより深く学ぼう」

2、講 師：小林いずみ 氏（東京子ども図書館評議員）
日 時：10月22日（日）13：30～15：30
場 所：大田市中央図書館 2階 視聴覚ホール

1、自己研修「実践！読み合いの会」

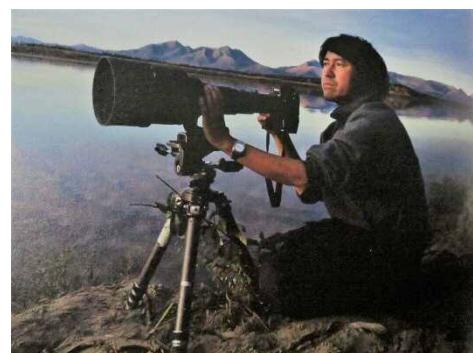
日 時：11月12日（日）13：30～14：00
場 所：大田市中央図書館 2階 視聴覚ホール
内 容：会員数名のよみきかせの実演を行い、お互いの良さを学び合う。

本の紹介：星野道夫「旅する木（本）」

NHKで放送されたのでご存知の方も多いと思いますが、江津の今井美術館で星野道夫没後20周年記念写真展が開催されています。この「旅する木」は最初に日本からスペインに旅した人が「木」に一本線をつけたして「本」にして次の旅人に託しバンコク、インド、カンボジア、ベトナム、南極、北極と次々と旅人の手にわたり、今も地球上のどこかで旅をしている人に読み継がれ、勇気を与え続けていると思います。

本の内容はアラスカの先住民やそこで暮らし始めた外国人の厳しい生活の模様が生き生きと描かれています。図書館にもありますし、できれば今井美術館に行って見てください。私はいつもながら美術館に入る道を間違えて川本近くまで行って引き返すというパターンを繰り返していました。

山崎



星野道夫の旅より

2学期が始まりました。（保育園、児童クラブへ行かれた皆さんは夏休み無でしたが）よろしくお願いします。